

企業情報

[HOME](#) > [企業情報](#) > [BIPROGYの企業活動](#) > [広告宣伝活動](#) > [BIPROGYバドミントンチーム](#) > [feature](#) > [女子チーム](#) > vol.4

BIPROGYバドミントンチーム

[ニュース](#)[選手・スタッフ紹介](#)[試合結果](#)[チームについて](#)

ツイート

いいね！ 0

feature vol.4



2009年、日本ユニシス女子チームは2月のチャレンジリーグを圧勝し、入れ替え戦も順当に勝って2部リーグ入りを果たした。

6月の全日本実業団選手権でも、日本リーグ1部チームを撃破して堂々の3位入賞と、トップレベルの実力を証明している。

さらに個人では、キャプテンの平山優とスーパールーキー・高橋礼華が国際大会で優勝と、最短での日本リーグ1部昇格に向け、視界は良好に見える。

今回は、チーム合宿直前の女子チーム7人の戦士たちに、入社からこれまで、そして、2009年後半戦の目標を聞いてみた。

平山 優

Profile

この一年半を振り返ってみると、昨年のインドネシアオープンで右足をケガしてしまったのがすごく大きくて。忘れもしない、6月23日でした。（右足首の靭帯部分断裂と診断）ケガから3ヶ月は試合に出られず治療とリハビリで、9月のヨネックスオープンで復帰しましたが、まだ不安が多少ありました。でも入社1年目ということもあって、気が張ってたのか、万全じゃないままプレーをするうちに、腰まで悪くなり、試合はできてベストな状態にはほど遠く、思うとおり動けない。ですから08年は、ケガにしがき、苦しんだという印象です。

今年に入り、2月のチャレンジリーグで優勝し、そのまま入れ替え戦も勝って、2部リーグ昇格。これも嬉しかったのですが、やはり6月の全日本実業団は嬉しかったです。昨年は予選敗退で、私自身、怪我で出場できずチームに貢献できなかったという悔しい思いがありました。

ですから、今年はなんとしてもチームとして勝ちたいと思ってました。

実業団は、予選の初戦の相手が日本リーグ1部のトリバン戦(岐阜トリッキー・バンダース)。私たちが1部のチームにどれだけ通じるかが試される場だと思っていましたが、ここで3-2で勝つことができ、「やってきたことが間違いじゃなかった！」と思えたんです。

準決勝で三洋電機に負けてしまいましたが、1部の強豪チームを追いつめ3位になれたことは、チームとして自信になりました。

特に嬉しかったのは、チーム全員が活躍できたということです。金森/高橋は全勝ですし、トリバン戦で決めてくれたのが王栄、NTT東日本戦では、最後に打田が樽野選手に勝って。浅原/栗原も、ヨネックス戦では赤尾/今別府組に勝ったり。チーム全員の力が3位という結果に繋がったと思います。

個人的には、1月にスウェーデン国際で優勝したり、3月のインドOPでベスト4に入るなど、今年に入ってやっと納得いく動きができるようになってきました。ただ9月の全日本社会人では、準優勝。最後は、決して満足のいくプレーではなく、それが悔しいですね。



平山 優



姉(愛・七十七銀行)も準決勝まで勝ち上がっていたので、前日、「決勝で姉妹対決をやろうよ」と話していましたが、残念ながら実現できませんでした。でも、隣り合うコートで姉妹が準決勝を戦ったというのは良い思い出です。

下半期の目標はもちろん、11月に行われる日本リーグ2部での優勝と、入れ替え戦での勝利です。みんなの力で、早く1部昇格までこぎつけたい。それと、全日本総合では行けるところまで行きたいです。体も徐々によくなってきて、10月のビットブルガーOPでも準優勝。今は試合ができる喜びを感じています。プレッシャーがかかる試合もあるとは思いますが、楽しめそうかな。ケガの時期があって、コートに立てる素晴らしいさを身にしみて感じましたから。



みんなの力で、早く1部昇格までこぎつけたい。総合は行けるところまで行きたいです。

金森 裕子 Profile

昨年の入社1年目は緊張もあって、思うようなプレーがまったくできませんでした。学生の頃はリラックスしてプレーしていたのですが、会社となると背負うものが大きく、そのプレッシャーの中で戦う怖さ、というのをイヤというほど感じました。

練習の環境は、大学時代と天と地ほど違いました。学生時代は、自分たちで自主的に練習するしかありませんでしたが、社会人になると指導者の方がいて、スパーリングパートナーがいて、男子選手もいて。でも、その環境を生かし切れませんでした。気持ちの弱さですかね。学生時代は緊張するとか、そんなことはまったくなかったのですが、サーブ打つときに手が震えたり、今まで気にならなかったことが気になるんです。そこを改善するのが難しかったです。相手というより、まず自分との戦いにすごく苦しみました。どうにかよくなったのは、9月、国体の関東予選ぐらいでしょうか。以後はミックスで全日本社会人3位、全日本総合準優勝と、なんとか結果が出るようになりました。最近はメンタルトレーニングなども受けて、もともと楽観的なところがありますから、「なるようになる」と考えられるようになってきたと思いますね。



金森 裕子

今シーズンは、とにかく団体戦で勝ちたいというのが一番で、「チームの一員として、絶対1ポイント上げる！」というつもりでやっています。

実業団では、予選の初戦から最初のダブルスで出ましたがもう手が震えることもなく(笑)、「みんながついてる」「パートナーを信じてやれば大丈夫」と考えられたのが、いい結果につながりました(5戦全勝)。
実業団での高橋とはいきなりのペアでしたし、ランキングサーキットでは栗原と組んだり.....パートナーが代わると、左利きだから迷惑かけちゃうな、と思ってしまうのですが、「自分がやらなきゃ」じゃなく、「パートナーが打てるタマをつくればいい」と思えるようになって。特に実業団の三洋戦(森・脇坂ペア)に勝てたのが印象深いですね。

ダブルスコーチとしてリオニーさんが来られてから、今までやったことのない練習をたくさん教えていただきました。練習でのラケットワークや繊細な部分が、ダブルスやミックスに生きているというのを実感しています。
たとえば私はレシーブが苦手ですが、「ラケットの先で捕る感覚だ」と教わっただけでだいぶ違います。

最近、社会人という環境にやっと慣れました。(笑)

下期は、日本リーグ2部と全日本総合が大きな目標ですね。2部には広島ガスなど強敵も多いですが、必ず1年で通過したいので、気を引き締めて臨みます。

総合は、全日本社会人で負けたので予選からの出場になります。昨年(浅原)もベスト16で敗退。総合では大学時代からベスト16止まりなんですね。一度でいいからベスト8、そして4に入りたいです。そこに入るかどうかで、世界が全然違うと思うんです。



全日本総合は、一度でいいからベスト8、そして4に入りたいです

feature backnumber

次△>

● チームについて ● 選手・スタッフ紹介 ● 試合結果 ● ニュース ● ルール解説 ● LINK ● お問い合わせ

企業情報

BIPROGYについて

トップメッセージ

会社概要

Vision2030・経営方針(2021~2023)

コーポレートブランド

グループ会社

BIPROGYの企業活動

サステナビリティ

広告宣伝活動

セミナー/イベント

出版物

デジタルメディア BIPROGY TERASU

BIPROGYの研究活動

BIPROGY総合技術研究所

Technology Foresight

技術論文BIPROGY技報

BIPROGY研究会



TOP

